

壁紙の貼り方 BOOK

張替えに必要な道具



おさえハケ、竹べら、おさえローラー
 ステンレスカット定規(地べら)
 カッターナイフ

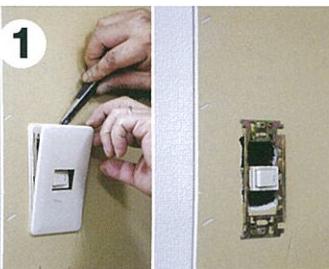
上の5点は当店の「ビギナーズセット」や
 「初回購入特典」などでお付けしている
 『簡単施工道具セット』の内容です。
 『カベ紙貼りセット』としても販売してお
 ります。



以下は別売りです
 スポンジ
 メジャー
 ジョイントコーキング
 (補修剤)
 補修用パテ
 バケツ
 踏み台

1

張替えの準備と下地処理



まずは壁面のコンセントプレートなど、壁紙の張り替え前に障害となる物を外しておきます。コンセントなどはカバーだけを外します。
 ※ブレーカーがある場合はフタは外さずに、そのまま壁紙を切り込んでください。



壁紙の上手（右利きであれば右上）から壁紙をはがします。角、切り継ぎ、重ね切りしているジョイント部分からはがすと剥がしやすいでしょう。



継ぎ目が見当たらない場合は壁紙の縦方向に切れ目を入れると、比較的簡単にはがすことが出来ます。壁紙の裏打ち紙が残っても構わないで、出来るだけ下地を傷めないように慎重に作業します。



壁紙をはがした後に、白っぽい薄紙が残ります。これは裏紙が残ったもので、全体的に薄紙が残った状態なら良いですが、はがす時にグレーの部分が見えるところまではがしてしまった場合はパテ処理を行います。



ヘラを使ってパテを塗って、表面をならしていきます。薄紙の白い部分とパテ処理を行った部分の段差がなくなるようにしましょう。



やるとい～！

準備が出来たら
 張替えスタートです！

裏面へ

2

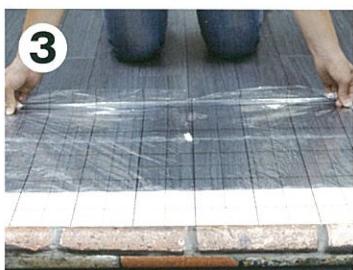
壁紙の準備をします



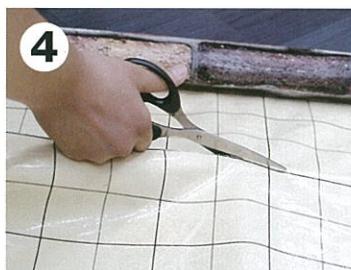
生のり付き壁紙を箱から取り出します。
壁紙の両サイドには乾き止めのビニールのテープが巻いてあるので、ゆっくりはがしていきます。



テープをはがしたら、右、左、真ん中と3箇所セロハンテープで止めてある部分を切っていきます。その後、ゆっくりとフィルムを引っ張ります。乾燥しないように余分に巻いてあります。



写真のように壁紙が出てきたら、余計なフィルムは切ってしまいます。



壁紙には裏面に10cm間隔の太線、5cm間隔の細線で目盛りが入っています。
壁の高さに5~10cm程度の余分を足してカットします。



柄物の壁紙の場合は柄合わせをする必要があります。
カットする時に目印になる柄を覚えておいて、壁紙をカットします。写真のように三角のマークが入っている壁紙は、それを目印にします。



壁紙を切り終えたら写真のようにたたんでおきます。
何cmでカットしたもののか分かるように、メモをはさんでおくと分かりやすいでしょう。



開封している途中でおかしくなってしまったら…

壁紙は通常下から ①壁紙 ②生のり ③フィルム(下の画像右) の順になっています。

もし ①フィルム ②壁紙 ③生のり(下の画像左) の順になってしまった時には、下のように対処して下さい。



フィルム
生のり
壁紙



壁紙だけをそっと持ち上げます



そのままロールのフィルムの上に貼り付けます

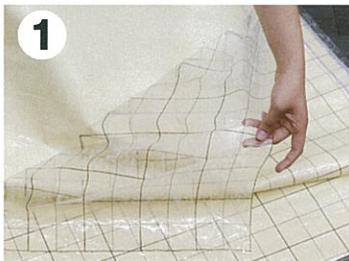


貼り付けたら再びロールを転がします

3

1枚目の壁紙を張ります

1



壁紙の裏側のフィルムを50cmほどはがします。
糊が手について少し気持ち悪いかも知れませんが、当社の壁紙には人体に安全な糊を使用していますのでご安心ください。

CHECK!

出っぱった角(出隅)の貼り方

1



角を巻き込むようにして壁紙を貼ります。

2



その後、スポンジ、タオルなどで少しぬらした後、撫でバケで空気を抜いて仕上げます。

3



貼り終えたら、撫でバケで壁紙の上から下に空気を抜いていきます。壁紙がシワにならないように注意して作業をしていきます。

CHECK!

へこんだ角(入り隅)の貼り方

1



歪まないように真っすぐ貼り付けます。

2



地べらで角を押さえます。
※力を入れすぎて壁紙を破らないように注意してください。

4



空気抜きが終わったら、次に壁紙の余計な部分をカットするために、竹べらを使って角を出していくます。
この時力を入れすぎると壁紙が破れてしまうので注意して下さい。

1



歪まないように真っすぐ貼り付けます。

2



地べらで角を押さえます。
※力を入れすぎて壁紙を破らないように注意してください。

5



次に地べらを当てて、カッターでカットしていきます。
カッターの刃は地べらに平行になる様に、また、刃はこまめに折るようにして、切れ味を損なわないようにしておきましょう。

1



歪まないように真っすぐ貼り付けます。

2



地べらで角を押さえます。
※力を入れすぎて壁紙を破らないように注意してください。

6



余計な部分についた糊は水をふくませたスポンジ、またはタオルなどを使ってふき取ります。
糊をきちんとふき取らないと変色の原因になります。
これで1枚目の壁紙を貼り終えました。

CHECK!

コンセント・スイッチの貼り方

①

スイッチ部分を覆い隠すように壁紙を貼ります。

②

次にスイッチ部分に切り込みを入れて、端に地ベラを当てながら余計な壁紙をカットしていきます。

③

カバーを元通りに取り付けて完成です。

4

2枚目の壁紙を貼ります [ピタハリ]エコタイプの場合は裏面をご覧下さい

1

1枚目の壁紙の上に2枚目の壁紙を、柄を合わせて貼り付けます。
無地の場合は数cm重ねてそのまま貼りますが、柄物の壁紙の場合は柄合わせをする必要があります。

5

柄が合えば、壁紙の重ね合わせた部分の中央に、地ベラを当てて2枚一緒に上から下に向かってカットします。

2

2枚目の壁紙の右側の柄が1枚目の壁紙の左側の柄と合うように、2枚目の壁紙をパラパラとめくりながら柄を合わせていきます。

6

カットした部分はこのようになります。
この後、壁紙のミミの部分を取り除きます。

3

1枚目と2枚目の壁紙の柄を合わせたところを撫でバケで撫でて貼り付けます。

7

当店の壁紙は下地の壁まで切らないように、壁の保護テープ(紫色)が付いていますが、力を入れすぎないように、1枚目と2枚目の壁紙だけを切ります。

4

壁紙がシワにならないように空気を抜いていきます。コツとして、壁紙の半分から上へ、半分から下へという感じで、空気を逃がしていくとまくいきます。

8

切り終えたら、壁の保護テープ(紫色)をはがします。
写真のように、上に重ねた壁紙にオレンジのテープが残っている場合は、きれいに取っておいて下さい。

裏面へ



9 次にローラーを壁紙のつなぎ目部分に当てて、コロコロと転がしていきます。



10 これでつなぎ目は完成です！3枚目も同じように作業していきます。

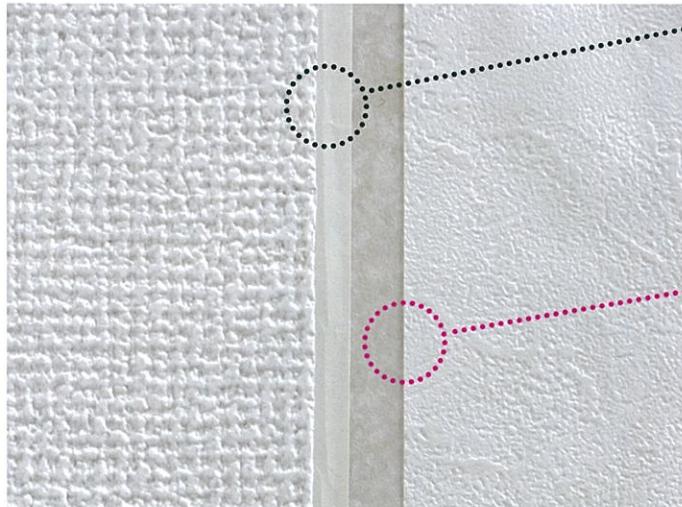
仕上げはジョイントコークで！



枠周り、壁紙の破れ、つなぎ目の部分のはがれ止め(重ね切りの部分にボンドとして使用)など、あらゆる部分の強い味方になってくれます。

店主も職人になりたての頃は、恥ずかしながらジョイントコークは大親友だったようです(^v^)

5 【ピタハル】エコタイプの貼り方

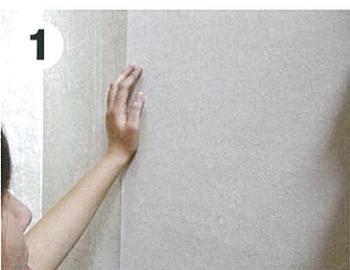


生のり付き壁紙【ピタハル】

壁紙の両サイドには、通常天地の目印や柄合わせの目印が記されている『ミミ』と呼ばれる部分があります。貼り替えのとき、つなぎ目となるこの『ミミ』部分をカットする『重ね切り』という作業をしていきます。

【ピタハル】エコタイプ

エコタイプは壁紙の『ミミ』をあらかじめカットしてお届けするので重ね切りの必要がありません！重ね切りの際に出る裁断ゴミも出ないので、環境にもやさしい商品です。



3ページと同じ手順で1枚目の壁紙を貼ります。



2枚目は1枚目の端に平行になるように合わせて、2、3mmすかした状態で仮貼りします。

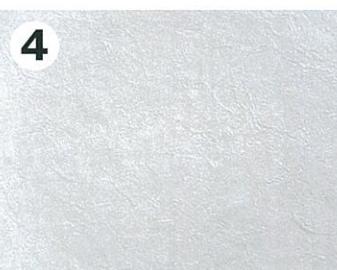


3

ローラーを使って、1枚目と2枚目のつなぎ目をしっかりと貼ります。

ジョイント部分が仕上がった後に空気を抜きます。

※壁紙の真ん中から上、真ん中から下に向かって仕上げます。



4

なんとこれだけで完成！エコタイプは重ね切りの必要がないので、手間もかからずとてもきれいに仕上がります。